

宇治市人口ビジョン
宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略
企業ヒアリング・アンケート結果まとめ

平成27年11月

宇治市

《 目 次 》

I. 企業ヒアリング.....	1
1. 概要.....	1
2. 具体の意見.....	1
(1) 会社の概要・課題等.....	1
(2) 宇治市の事業環境について.....	1
(3) 採用活動について.....	1
(4) その他（市への要望等）.....	2
II. 企業アンケート.....	3
1. 概要.....	3
2. 具体の意見.....	3
(1) 5つの基本目標について.....	3
(2) その他.....	4

1. 企業ヒアリング

1. 概要

「宇治市人口ビジョン」「宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定にあたり、宇治市における官民連携の重要な主体であり、雇用創出の場でもある民間事業者にヒアリングを実施した。実施概要については下記のとおりである。

日時	企業（業種）
9月3日（木）13：30～	A社（ゴム製品製造業）
15：00～	B社（食料品製造業）
9月8日（火）14：00～	C社（金属製品製造業）
15：00～	D社（銀行業）

2. 具体の意見

ヒアリングによって得られた具体の意見は、下記のとおりである。（順不同）

(1) 会社の概要・課題等

- ・製造よりも販売に対しての労力がかかることが一番の悩みである。
- ・新規取引先の獲得や新規商品の受注が最優先課題である。
- ・新しい機材を導入して新しい市場や技術を手に入れていく必要がある。
- ・人材確保と事業承継がこれからのテーマである。

(2) 宇治市の事業環境について

- ・京都、宇治はブランドとして1つのアドバンテージになっている。所在地を聞かれたときに全国区で理解して貰うことができる。
- ・宿泊施設が少ないため、客先の出張者を受け入れられないのが悩み。
- ・関東から来たバイヤーに宇治の雰囲気味わってもらえることがメリット。
- ・京都市内の大学生と共同で商品開発を行った。
- ・市からきめ細かい情報提供（採用、移転等に対する助成金等）があった。
- ・手狭になってきて、土地や工場物件を探している事業者が多い。
- ・地域における創業支援融資の仕組みを作るべく取り組んでいる。

(3) 採用活動について

- ・ほぼ地元で積極的に採用を行っている。
- ・現在は採用に困っていないが、今後中小志向の学生を確保するのが難しくなると考えられる。
- ・技術職の正社員に応募が少ない。
- ・定着率はよいが、人員不足が切実である。
- ・パートや派遣も恒常的に足りていない。
- ・宇治市の高校と繋がって、高卒採用も積極的に行いたい。

(4) その他(市への要望等)

- ・ ウェブサイトリニューアルのような、50～100万円程度の販路開拓支援があればよい。
- ・ 設備導入の助成金が宇治市は少ない。設備あつての生産なので、積極的に活用したい。
- ・ 金銭面だけでなく、販路を持っているメーカーから販路開拓を学べる勉強の機会を作してほしい。
- ・ 雇用、納税に前向きな企業への支援策を考えてほしい。
- ・ 空き家売却情報の仲介をしてもらえるとよい。
- ・ 事業拡大にあたり用地を探しているが、それに対する支援があるとよい。
- ・ 農家と提携した商品展開を行いたいと考えており、生産者との繋がりをサポートしてほしい。
- ・ 創業関係やビジネスマッチングで連携できる部分があるのではないかと。

II. 企業アンケート

1. 概要

市内企業に対して、「宇治市人口ビジョン」「宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の最終案取りまとめに向けて、182社にアンケート調査を実施し、9社からの回答があった。

2. 具体の意見

(1) 5つの基本目標について

確固たる宇治ブランドの確立

- ・ 平等院周辺だけでなく、他の地域にも観光客が染み出すような施策が必要ではないか。
- ・ 京都市南東部から、城陽、青谷、玉水、上狛、奈良まで歴史的遺産を連携して観光化し、集客してはどうか。点ではなく、線・面的な広がりが必要である。
- ・ 宇治のPR強化のため、宇治茶・平等院・源氏物語ミュージアムだけでなく、もっと工夫が必要である。
- ・ 海外からの観光客の要望に即した案内や、もてなしの体制づくりが必要ではないか。
- ・ 宇治茶ブランドを50年後、100年後を見据えた、盤石なものとし、世界に知られる日本農政の牽引役にする必要がある。
- ・ 世界中の人に宇治茶をアピールするためにも、宇治茶一本に特化すべきである。
- ・ 東京オリンピックパラリンピックを見据え、世界中の方々が日本へ来られる時に世界中の外国人観光客が流れてこられるしくみを今からつくることが重要ではないか。
- ・ 海外の観光ガイドブックに掲載するなど、海外へのPR強化が必要である。
- ・ 宿泊施設の充実が必要である。
- ・ 宇治のゆるキャラやうみうのウッティの事など知らない方が多くまだまだ認知度が低いと感じる。もっと地元全体で盛り上げファンを作り宇治の良さをアピールし、若い方々が宇治に行きたいと思ってもらえるようになればよい。
- ・ 宇治市に入っても、宇治茶のまちを感じられない。宇治に来ている、散策している実感をしてもらう工夫が必要である。
- ・ 宇治茶の応用商品化（消臭剤、化粧品、入浴剤、除菌剤等）をしてはどうか。

市民の宇治への愛着の醸成と市民によるふるさと宇治の創生

- ・ 観光都市の魅力を高めることで、住民も誇りに感じ、郷土愛が高まるのではないか。
- ・ 歩ける町をキャッチフレーズに、運動を行う環境を作ることで、健康作り、認知症の予防に繋がる。
- ・ CCRを産業化するならいいが、福祉政策として取り組む場合は、対象者が少なく、費用がかかりすぎる。誰もが将来安心して宇治に住め、子どもの将来にとっても有効だとは思えない。

まちの魅力を高める都市基盤の整備

- ・ 交通利便性に欠けるところがある。高速道路だけでなく、一般道の整備・改善を行うことで、日常的な渋滞の緩和をお願いしたい。
- ・ 滞在時間を長くする工夫が必要である。ウォーキングのしやすいまちを作れば市民も観光客も歓迎す

るのではないか。

- ・商店街の活性化策として、大型スーパー出店の規制強化（これ以上増やさない工夫）、コミュニケーションを生み出す工夫、が必要ではないか。

地域経済の活力づくり

- ・宇治、久御山、淀には技術力を持った企業があり、各工場の得意分野を集約してデータ化して地力とするとよい。
- ・「地域の中堅企業の発展支援」「新たな事業所の誘致」について施策が弱いと感じる。地元に着した、小規模でも魅力的な企業への支援は最重要だが、中堅企業のさらなる発展も就業人員の増加につながると考える。
- ・鉄道・高速道路の利便性が高く、特に六地蔵は鉄道が3線あり、企業の支店や営業所の立地として最適である。もっと利便性の高さを活かした企業誘致施策等に取り組むべきである。
- ・京野菜などのブランド化をはじめ、農業振興施策も必要である。
- ・具体的施策として 工業地域・準工業地域への宇治市道の整備、工業地域・準工業地域の排水溝整備と企業負担による雨水対策の見直し、工業地域・準工業地域への下水道の早急な整備、工業地域・準工業地域（E・F地域）への景観条例の緩和、企業の事業所新築に対して、消防協力金・水道協力金徴収の見直し 宇治市の法人税率（中堅企業）の見直し、をお願いしたい。

若い世代の就労・結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境づくり

- ・子育て支援がより充実し、若い世代が暮らしやすさを感じられれば、転入者の増加に繋がる。
- ・若者の雇用と生活基盤の安定は重要なテーマ。他の地域よりも魅力ある施策を実施してほしい。
- ・待機児童対策を強化すべき。宇治市は受け入れの空きが少なく、とくに産休明けとなる1歳は公立・民間あわせても空きはゼロの状況である。
- ・「宇治市なら、子供を安心して産め、複数の保育園から預け先を選ぶことが出来る」この状態なら、人口流出減、流入増となるのではないか。
- ・0才～中学校卒業までの医療費無償化実施、中学校の給食化実施をお願いしたい。

(2) その他

- ・事業計画前から市民が参画するような仕組みが必要なのではないか。